令和元年度　えなの森林づくり推進委員会

番号	役割	所属	氏名
1	委員	恵南森林組合　管理課長	岡田　努
2	委員	恵那市森林組合　総務課長	足立　健二
3	委員	林業家・林業団体	寺澤　俊二
4	委員	杣組　代表	鈴村　今衛
5	委員	久須見生産森林組合　組合長	伊藤　兼正
6	委員	NPO奥矢作森林塾　理事長	小林　太朗
7	委員	NPO夕立山森林塾　代表	佐藤　大輔
8	委員	恵那小径木加工協同組合	曽我　良久
9	委員	協同組合東濃地域木材流通センター	小木曽　正富
10	委員	NPO美濃の森造隊　代表	森岡　哲郎
11	委員	しあわせの里　えな山里楽耕	安藤　由美子
12	委員	森の守倶楽部	小椋　正明
13	委員	商工会議所木工部会	所　正幸
14	委員	矢作川水系森林ボランティア協議会	高橋　幸生
15	委員	山奉仕　代表	藤村　聡樹
16	委員	森林インストラクター	山本　喜美江
17	委員	恵那市教育委員会学校教育課　主幹	工藤　博也
18	アドバイザー	東濃森林管理署　署長	秋山　広
19	アドバイザー	東濃森林管理署　森林技術指導官	稲垣　正紀
20	アドバイザー	岐阜県森林組合連合会　東濃林産物共販所　所長	岩木　克也
21	アドバイザー	恵那農林事務所林業課　課長	田口　剛
22	アドバイザー	恵那農林事務所林業課　森林整備係長	安田　浩介
23	アドバイザー	恵那農林事務所林業課　森林整備係長	大重　隆太郎
24	事務局	恵那市農林部　部長	林　雅樹
25	事務局	恵那市農林部次長兼林政課長	勝川　甲子
26	事務局	恵那市農林部林政課　管理官	杉本　金一郎
27	事務局	恵那市農林部林政課　課長補佐	原田　宏明
28	事務局	恵那市農林部林政課　林業振興係長	佐藤昌宏
29	事務局	恵那市農林部林政課　治山林道係長	小木曽　崇
30	事務局	恵那市農林部林政課　林業振興係総括主査	桜井　新吾
31	事務局	恵那市農林部林政課　治山林道係主任	藤井　雅之

【未来への枠組み】		具体的な取り組み		
項目	①環境保全林と木材生産林のゾーニング	②森林保全のためのガイドライン策定	③えなの森林づくりシンポジウムの開催	④えなの森林づくり実施計画の見直し
計画内容	・木材生産林と環境保全林にゾーニング ・森林の管理形態や自然条件をふまえた地域区分 ・治山・林道の計画	・多面的機能を継続的に発揮させるためのガイドラインづくり ・えなの森林づくり条例の検討	・定期的にシンポジウムを開催 ①委員会で実施した調査・研究の成果報告 ②策定した計画の周知と進捗状況の報告 ③オープンな場での議論	・PDCAサイクルによる進捗管理と5年毎による計画の見直し・改善
実施主体	恵那市，委員会，森林組合，民間事業体，NPO	恵那市，委員会，民間事業体，NPO	シンポジウム実行委員会（恵那市，民間事業体，NPO，地域住民等）	恵那市，委員会
30年度までの取り組み内容	・H28年　県の100年先の森づくりおいて森林配置計画を策定 ・H29年　木材生産林と環境保全林にゾーニングを策定 ・H30年　観光景観林、生活保全林の追加ゾーニング実施	・H30年　森林の多面的機能を発揮させるため、太陽光発電設備設置事業に対す条例を制定(平成30年９月28日)		・H30年6月全体会議で進捗状況報告 ・H30年10月全体会議で状況報告
課題			・主催者 ・開催内容	
今後の方針	・生活保全林や観光景観林は随時行う ・ゾーニングの変更は、有識者（委員会の部会）で会議を行い決めて行く			・PDCAによる進捗管理を行う
令和元年度の実施予定	・事業施行にあわせ、観光景観林や生活保全林のゾーニングを追加（飯地町）	・継続審査の実施	・シンポジウムの開催に向けての検討。	・継続的な会議の開催

【森林を活用する】		具体的な取り組み				
項目	①バイオマス導入検討委員会の開催	②薪ストーブの普及	③小水力発電の調査研究	④公共施設への薪ボイラーの導入	⑤木の駅プロジェクトの推進	⑥薪販売のしくみづくり
計画内容	・薪ボイラー、バイオマス発電等の調査・研究	・市民向け薪ストーブ設置補助制度の検討 ・市内産燃料への補助制度の検討	・水利使用に関する手続き簡素化を含めた検討	・公共施設への薪ボイラーの導入 ・初期設計時からの薪ストーブ・ボイラーの導入	・木の駅が存在しない地区での新設検討 ・プロジェクトの設立補助金、搬出補助金の検討	・薪ストーブ用の薪の生産・販売のしくみづくり・木の駅プロジェクトとの連携 ・豊田市旭地区の「薪の駅」と同様の取り組み
実施主体	恵那市，森林組合，民間事業体，NPO，有識者	恵那市，民間事業体，NPO，市民	恵那市，民間事業体，NPO，有識者	恵那市，民間事業体，NPO，有識者	恵那市，木の駅実行委員会，地域自治区，森林所有者	恵那市，NPO，森林所有者
30年度までの取り組み内容	・H28 バイオマス検討委員会にて検討 ・H29　バイオマス発電業者2社より建設相談あり	・H28 バイオマス検討委員会にて検討	・H23　県下可能地調査 ・H23　恵那市が5箇所の調査実施 ・H25　鎌瀬用水の概略設計 ・H25　保古の湖の可能性調査 ・H26　岐阜県が可能性可と判断 ・H27～H30　鎌瀬用水にて事業実施	・ バイオマス検討委員会にて検討 ①その他公共施設	・H27　笠周、山岡の2地区 ・H28　笠周、山岡、串原の3地区 ・H29　笠周、山岡、串原、恵那西の4地区 ・搬出に係る補助　3,000円/t	・H29 串原木の駅が内部で薪の販売を始める ・H29　恵南森林組合がストーブ業者に薪販売を行う
課題	・大規模な発電施設でないと採算が合わない ・市内だけでは、燃料用木材の供給量が足りない ・安定した燃料用木材の供給ができない 【検討結果】 ・「業」としてなりたってこその木質バイオマス。木材の価値を高め、利用量を増やしていく ・小規模で地域住民が様々な主体となって取り組めるプロジェクトを創出し、森林に携わる人を増やす	・販売事業者の利益が優先されるため、山主の利益は少ない ・設置費用が高額 ・ランニングコストがかかる ・煙による近隣環境への影響	・今後の維持管理	①他公共施設 ・配管設備の改修にコストがかかる	・高齢化により搬出量が減少 ・搬出出来る場所が減少 ・重機を持っている人が少ない	・木材の活用にはなるが、利益に繋がらない ・顧客確保が困難
今後の方針	・検討委員会の検討結果を踏まえ木材利用を推進する	・市内産燃料への補助制度は当分の間、見合わせる		・今後、公共施設の建設があるときは、費用対効果を考慮し、提案する	・山に関心を持ってもらう人を増やし、木の駅プロジェクトを紹介する	
令和元年度の実施予定	令和元年に、直接県へ補助申請有り（1業者）		・実施予定なし		・搬出に係る補助の継続	

	具体的な取り組み			
項目	⑦木製品の展示スペースの設置	⑧公共施設の木造化	⑨えなの木で家づくり支援	⑩市有林の協働活用
計画内容	・地域材の魅力発信のための展示スペースおよびアンテナショップを開設	・地域材活用によるこども園、小中学校等の木造化 ・市有林から得られる木材の活用検討	・地域材利用促進のための固定資産税減免・奨励金制度 ・市産材利用促進施策の検討 ・一貫した製材流通体制づくりの調査・検討	・市有林の森林整備方法の検討 ・市有林から得られる木材の活用検討 ・活動フィールドとしての市有林の活用 ・管理できない所有者からの森林の受入検討
実施主体	恵那市，民間事業体，工芸作家，NPO	恵那市	恵那市，民間事業体	恵那市，委員会，森林組合，民間事業体，NPO
30年度までの取り組み内容	・H29 恵那の木工展を開催（恵那文化センター） ・H30 恵那の木工展を開催（木point）	・H29 武並小体育館 ・H29～H30 長島二葉こども園	継続 ・県の県産材利用拡大補助を活用 ・ぎふの木で家づくり支援事業を推進 ・恵那市産直住宅組合への助成 H30(1棟)	・H29 市民恵那病院は市有林材を活用 継続事業 ・イワクラ里山クラブにイワクラ公園周辺を公園管理として貸している ・中野方のマツタケ栽培研究会にグリーンピア跡地の一部を栽培試験地として貸している ・やすらぎの森の一部をやすらぎの森守り隊に公園の管理として貸している
課題	・開催時期が8月だったため参加者か少なかった ・公共施設では製品販売ができない		・市内産材の把握が困難	・管理が出来ていない山林の把握
今後の方針	・市内の木製品の良さを多くの方に知ってもらう	・公共施設の建築・改修には、木造化・木質化を推進する	・市内産材の把握が困難のため県産材利用の促進を行う	・市有林を有効に活用する
令和元年度の実施予定	・木POINTにて木工展の開催	・病院の宿舎をCLTで建設出来よう、関係課と検討する。	・住宅による市内産木材利用の補助検討 ・市内産木材の利用・流通の仕組み作りの検討	・貸付地の継続利用 ・明知城跡の保存について、地元関係団体と協働で整備方法の勉強を行う。

【森林を守る】		具体的な取組						
項目	①治山事業の計画的な実施	②地籍調査・境界明確化の推進	③計画的な間伐の実施	④林道等の整備	⑤作業道整備補助制度の設立	⑥木材生産林及び環境保全林のモデル林設置	⑦市行造林の有効活用	⑧獣害の把握と対策
計画内容	・国や県と連携した治山事業の実施 ・優先順位をつけた計画的な治山事業の実施	・未確定地区の把握 ・地籍担当部署との調整・連携 ・森林所有者の合意形成とモデル地区の設定	・向こう5年間の施業計画を毎年作成 ・団地化による施業集約化 ・個人間伐への助成の検討	・優先順位をつけた林道・作業道の開設 ・既存林道の計画的な維持管理 ・ゾーニングをふまえた林道・作業道の整備 ・原材料支給による維持管理	・作業道整備補助の実施	・皆伐した森林の里山モデル林の設置 ・市有林の利用	・市行造林の現況調査・整理 ・今後の活用方法の検討	・獣害発生状況の把握 ・農業被害対策と連携した防除活動の実施 ・ジビエの加工利用の検討
実施主体	岐阜県，恵那市，委員会	恵那市，森林組合，NPO，森林所有者	恵那市，森林組合，民間事業体，NPO，森林所有者	恵那市，森林組合，民間事業体	恵那市，森林組合，民間事業体，森林所有者	恵那市，森林組合，NPO	恵那市	恵那市，民間事業体，NPO，猟友会，市民
30年度までの取り組み内容	・県に要望し各地域の治山事業を行う ・治山事業と併せて集落環境保全整備事業を行う 公共治山事業 （H30 笠置町栩杭他） 県単治山事業 （H30 長島町洞他） 集落環境事業 （H30 上矢作町越沢 他）	・森林整備活動支援交付金を活用した所有者との合意形成による森林整備 ・地籍調査の進捗率 （恵那市内全体 45.54%）	・森林経営計画の作成 ・間伐補助金21,000円/ha ・間伐搬出補助1,000円/㎥ ・作業路補助1,200円/m ・H29 535ha実施(市内全体) ・H30 636ha実施(市内全体)	・地域が行う林道維持への補助 ・地域が行う維持工事に対する原材料支給 ・林業基盤維持管理事業 林道笠置山線他 ・林業基盤整備事業 ○公共林道工事 （H30 暗井沢線他） ○県単林道工事 （H30 寺洞線他） ・災害復旧 （H30 大沢線他）	・H28 作業道整備補助の新設 ・H28 2路線 ・H29 7路線 ・H30 3路線 ・補助金 1,200円/m 上限300m	・H29～ 道路沿いで市民の目に届く民有林を借りて、間伐～搬出まで市民参加による林業体験を実施 H29 5人 H30 3人 ※参加者が恵南森林組合へ就職 H30 中野方町で皆伐再造林実施 1ha		・有害鳥獣被害対策協議会開催 ・有害捕獲活動の実施と補助(猟友会) ・防護柵への補助 ・ジビエの加工利用の検討 ・国有林での捕獲活動 ・里山林整備事業によるバッファゾーン設置
課題	・森林の所有者が分からない土地がある	・所有者が分からない土地がある ・森林整備に意欲的でない所有者がいる	・補助金の確保が必要	・財源確保		・実施場所の選定が困難	・市行造林は奥山に多く、作業道建設も困難なため、搬出が困難 ・木材価格の低迷が続き、利益が出ない箇所がある	・ニホンジカの被害が増えている ・農作物の被害が出ている ・ジビエの捕獲加工販売は採算が合わない
今後の方針	・地域からの要望を県に上げ、優先順位の高いところから実施	・地籍調査の推進	・計画的な間伐の実施	・地元への助成 ・木曽川地域森林計画に沿った林道整備	・補助金の継続	・皆伐再造林の推進 ・環境保全林の推進 ・森林環境税の有効利用		・獣害対策の補助金を活用し、事業を継続する
令和元年度の実施予定	・地蔵平(東野)他9カ所	・令和元年度は、恵那市武並町竹折第1地区及び、恵那市明智町太田第4地区の境界杭の設置を行う。	・森林経営計画の推進 ・間伐補助、搬出補助、作業路補助の継続 ・森林経営管理制度の実施 ・森林環境譲与税の有効利用	・林道専用道開設 船岩線 ・公共林道改良工事 暗井沢線 ・県単改良工事 寺洞線 ・維持工事 ・災害復旧工事	・作業路補助の継続	・木材生産材として中野方の皆再伐再造林をする。	・令和元年に現況調査する事にしている。	・有害鳥獣被害対策協議会開催 ・有害捕獲活動の実施と補助(猟友会) ・防護柵への補助 ・国有林での捕獲活動 ・里山林整備事業によるバッファゾーン設置

【森林を支える】		具体的な取組						
項目	①小中学校での森林教育	②技術者育成の支援	③えなの森林づくりポータルサイトの作成	④山里に暮らす移住・定住の支援	⑤森林教育の活動拠点づくり	⑥森づくり連絡会議の開催	⑦木育の推進	⑧木工コンテストの再編
計画内容	・緑の少年団活動の推進 ・NPOや企業と連携した体験学習 ・学校林活動の推進	・林業技術研修会の実施 ・緑の雇用事業による新規就業者の確保・育成 ・森林学校の実施	・地域内の情報提供・交流を目的としたウェブサイトの開設 ・SNSによる人的ネットワークの拡大 ・木工製品のウェブ販売	・移住のための就業機会提供 ・移住生活を支援する生活インフラの整備	・野外教育施設の有効活用 ・里山体験キャンプ等の体験学習開催	・森づくりに関わる活動メンバーの情報交換 ・気軽に参加できるガヤガヤ会議	・プレーパーク活動の支援 ・森のようちえんの設置検討支援	・木工コンテストの継続実施 ・えなの森林づくり推進委員会による企画・運営
実施主体	恵那市，教育委員会，NPO	国，岐阜県，恵那市，森林組合，事業者，NPO，（恵那農業高校）	恵那市，森林組合，民間事業体，NPO，木の駅実行委員会，森林所有者，市民	恵那市，NPO	恵那市，NPO，委員会	国，岐阜県，恵那市，森林組合，民間事業体，NPO	恵那市，教育機関，企業，NPO，市民等	恵那市，委員会
30年度までの取り組み内容	・緑の少年団活動の推進 ・根ノ上高原での森林教育の実施（武並、大井、山岡） ・学校林での森林教育の実施（長島） ・地元での森林教育の実施（中野方、東野、明智、上矢作など）	・恵那農高の森林学習 ・間伐モデル林による担い手育成 ・山仕事手習い塾による担い手育成 ・インターシップの受入	・H29　産業振興ビジョン検討部会にて情報発信について検討を行う ・H30　えなの森林魅力発信モデル事業として森林体験ツアーを実施	・森林体験学習 ・移住定住の補助	継続 ・NPOによるアライダシ散策ツアー ・林研クラブによる木工教室への助成 ・H29～H30 奥矢作レクリエーションセンタを活用した森林体験を検討	H28　森づくり連絡会議開催 H30　森づくりに関わる講演会を開催	・H29 木育教材購入（中野児童館）	・えなの木、もりの木きになる木コンテストの開催 ・環境フェアーに木工コンテスト入賞作品を展示した（継続）
課題	・学校側の都合もあり、全ての小中学校で間伐体験などの森林教育が出来ていない	・事業実施後、担い手に繋がる支援が出来ていない	・運営組織の構築	・林業者に特化した支援は難しい	・冬場の利用客が少ない	・会議内容が具体化されなため予算がない	・自然が身近にあるため、森のようちえんの設置は難しい	・出展数が多く審査が難しい
今後の方針	・全ての学校で森林教育を行う	・事業参加者に林業関係の事業を紹介する ・担い手育成事業の継続	・モデル事業を展開して情報発信を行う ・「森のジョブステーションぎふ」の活用	・「森のジョブステーションぎふ」の活用	・市民やNPOが行う自発的な森林教育活動への支援	・団体間の情報交換や林業政策の情報発信の場とする	・県の補助を活用し、木育を推進する	・木工コンテストの継続実施
令和元年度の実施予定	・緑の少年団活動の推進 ・根ノ上高原での森林教育の実施（武並、大井、山岡） ・学校林での森林教育の実施（長島） ・地元での森林教育の実施（中野方、東野、明智、上矢作など） ・木工作品展の開催	・恵那農高の森林学習 ・えなの森林魅力発信事業による担い手育成 ・山仕事手習い塾による担い手育成 ・インターシップの受入 ・講演会の開催	・山仕事手習い塾など他市からの参加者にSNSなどを利用した情報発信をお願いする	・観光交流課とのの情報交換を行う ・移住定住推進課との情報交換を行う	・林研クラブによる木工教室への助成（継続）	・森づくり連絡会議の開催	・岐阜県にて木育の大会への参加	・えなの木、もりの木きになる木コンテストの開催（継続） ・環境フェアーに木工コンテスト入賞作品を展示する

えなの森林(もり) 活かして守って次世代へ ～市民の力で持続可能な地域循環型の森林(もり)づくり～ ロードマップ

赤:変更後
青:変更前

区分	番号	具体的な取り組み	実施主体	内容	平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
未来への枠組み	①	環境保全林と木材生産林のゾーニング	恵那市，委員会，森林組合，民間事業体，NPO	・木材生産林と環境保全林にゾーニング ・森林の管理形態や自然条件をふまえた地域区分 ・治山・林道の計画		完了	随時追加							
	②	森林保全のためのガイドライン策定	恵那市，委員会，民間事業体，NPO	・多面的機能を継続的に発揮させるためのガイドラインづくり ・えなの森林づくり条例の検討		条例検	施行							
	③	えなの森林づくりシンポジウムの開催	シンポジウム実行委員会（恵那市，民間事業体，NPO，地域住民等）	・定期的にシンポジウムを開催 ①委員会で実施した調査・研究の成果報告 ②策定した計画の周知と進捗状況の報告 ③オープンな場での議論				企画・開催					企画・開催	
	④	えなの森林づくり実施計画の見直し	恵那市，委員会	・PDCAサイクルによる進捗管理 ・5年毎の計画の見直し・改善	PDCA実	PDCA実	PDCA実	PDCA実	PDCA実 計画見直し	PDCA実	PDCA実	PDCA実	PDCA実	PDCA実 計画見直し
えなの森林を活用する	①	バイオマス導入検討委員会の開催	恵那市，森林組合，民間事業体，NPO，有識者	・薪ボイラー、バイオマス発電等の調査・研究	調査・研究									
	②	薪ストーブの普及	恵那市，民間事業体，NPO，市民	・市民向け薪ストーブ設置補助制度の検討 ・市内産燃料への補助制度の検討	補制度の検討									
	③	小水力発電の調査研究	恵那市，民間事業体，NPO，有識者	・水利使用に関する手続き簡素化を含めた検討	鎌瀬用水にて実施									
	④	公共施設への薪ボイラーの導入	恵那市，民間事業体，NPO，有識者	・こども園、小中学校、ささゆりの湯への薪ボイラーの導入 ・初期設計時からの薪ストーブ・ボイラーの導入	導入検討	導入促進								
	⑤	木の駅プロジェクトの推進	恵那市，木の駅実行委員会，地域自治区，森林所有者	・木の駅が存在しない地区での新設検討 ・プロジェクトの設立補助金、搬出補助金の検討	推進									
	⑥	薪販売のしくみづくり	恵那市，NPO，森林所有者	・薪ストーブ用の薪の生産・販売のしくみづくり ・木の駅プロジェクトとの連携 ・豊田市旭地区の「薪の駅」と同様の取り組み	実施									
	⑦	木製品の展示スペースの設置	恵那市，民間事業体，工芸作家，NPO	・地域材の魅力発信のための展示スペースおよびアンテナショップを開設	計画	実施								
	⑧	公共施設の木造化	恵那市	・地域材活用によるこども園、小中学校等の木造化 ・市有林から得られる木材の活用検討	実施									
	⑨	えなの木で家づくり支援	恵那市，民間事業体	・地域材利用促進のための固定資産税減免・奨励金制度 ・市産材利用促進施策の検討 ・一貫した製材流通体制づくりの調査・検討	調査	検討								
	⑩	市有林の協働活用	恵那市，委員会，森林組合，民間事業体，NPO	・市有林の森林整備方法の検討 ・市有林から得られる木材の活用検討 ・活動フィールドとしての市有林の活用 ・管理できない所有者からの森林の受入検討	管理方法の検	管理方法の検討		実施						
えなの森林を守る	①	治山事業の計画的な実施	岐阜県，恵那市，委員会	・国や県と連携した治山事業の実施 ・優先順位をつけた計画的な治山事業の実施	計画 実施					計画の見直				
	②	地籍調査・境界明確化の推進	恵那市，森林組合，NPO，森林所有者	・未確定地区の把握 ・地籍担当部署との調整・連携 ・森林所有者の合意形成とモデル地区の設定	ゾーニングとの調整		地籍調査事業との調整・連携							
	③	計画的な間伐の実施	恵那市，森林組合，民間事業体，NPO，森林所有者	・向こう5年間の施業計画を毎年作成 ・団地化による施業集約化 ・個人間伐への助成の検討	実施				計画見直し					計画見直し
	④	林道等の整備	恵那市，森林組合，民間事業体	・優先順位をつけた林道・作業道の開設 ・既存林道の計画的な維持管理 ・ゾーニングをふまえた林道・作業道の整備 ・原材料支給による維持管理	維持管理・原材料支給		ゾーニング等をふまえた林道整備							
	⑤	作業道整備補助制度の設立	恵那市，森林組合，民間事業体，森林所有者	・作業道整備補助の実施	補助実施									
	⑥	木材生産林及び環境保全林のモデル林設置	恵那市，森林組合，NPO	・皆伐した森林の里山モデル林の設置 ・市有林の利用		検討	実施							
	⑦	市行造林の有効活用	恵那市	・市行造林の現況調査・整理 ・今後の活用方法の検討				現況調査 現況調査	実施					
	⑧	獣害の把握と対策	恵那市，民間事業体，NPO，猟友会，市民	・獣害発生状況の把握 ・農業被害対策と連携した防除活動の実施 ・ジビエの加工利用の検討	被害に応じた防除	ジビエ検討								
えなの森林を支える力	①	小中学校での森林教育	恵那市，教育委員会，NPO	・緑の少年団活動の推進 ・NPOや企業と連携した体験学習 ・学校林活動の推進	実施									
	②	技術者育成の支援	国，岐阜県，恵那市，森林組合，事業者，NPO，（恵那農業高校）	・林業技術研修会の実施 ・緑の雇用事業による新規就業者の確保・育成 ・森林学校の実施	研修会実施									
	③	えなの森林づくりポータルサイトの作成	恵那市，森林組合，民間事業体，NPO，木の駅実行委員会，森林所有者，市民	・地域内の情報提供・交流を目的としたウェブサイトの開設 ・SNSによる人的ネットワークの拡大 ・木工製品のウェブ販売	調査	検討	試験	SNSの活用						
	④	山里に暮らす移住・定住の支援	恵那市，NPO	・移住のための就業機会提供 ・移住生活を支援する生活インフラの整備		実施方法研究		実施						
	⑤	森林教育の活動拠点づくり	恵那市，NPO，委員会	・野外教育施設の有効活用 ・里山体験キャンプ等の体験学習開催	計画	実施								
	⑥	森づくり連絡会議の開催	国，岐阜県，恵那市，森林組合，民間事業体，NPO	・森づくりに関わる活動メンバーの情報交換 ・気軽に参加できるガヤガヤ会議	実施									
	⑦	木育の推進	恵那市，教育機関，企業，NPO，市民等	・プレーパーク活動の支援 ・森のようちえんの設置検討支援	実施									
	⑧	木工コンテストの再編	恵那市，委員会	・木工コンテストの継続実施 ・えなの森林づくり推進委員会による企画・運営	実施									

年間スケジュール

	日程	内容
第１回 全体会議	7月11日	・委員委嘱　・事業説明　・スケジュール調整
テーマ別 部会	８月上旬	・恵那市木工展、木工コンテスト 担い手育成・森林教育部会
テーマ別 部会	８月上旬	・新たな木材流通利用制度 森林活用・保全部会
テーマ別 部会	９月中旬	・木工コンテスト反省、恵那市木工展 担い手育成・森林教育部会
テーマ別 部会	１０月中旬	・新たな木材流通利用制度 森林活用・保全部会
第２回 全体会議	１０月中旬	・中間報告及び予算関連
テーマ別 部会	１１月中旬	・恵那市木工展反省、森づくり連絡会議 担い手育成・森林教育部会
テーマ別 部会	１２月中旬	・新たな木材流通利用制度 森林活用・保全部会
取組状況の 確認	１月下旬	・各取組に対する課題と今後の方針各 森林活用・保全部会 担い手育成・森林教育部会
第３回 全体会議	２月下旬	・令和元年度事業報告 ・令和２年度事業計画

令和元年度　えなの森林づくり推進委員会　委員部会構成

番号	所属		氏名	活用・保全　部会	担い手育成・森林教育　部会
1	委員	恵南森林組合　課長	岡田　努	○	
2	委員	恵那市森林組合　課長	足立　健二	○	
3	委員	林業家・林業団体	寺澤　俊二	○	
4	委員	杣組　代表	鈴村　今衛	○	
5	委員	久須見生産森林組合　組合長	伊藤　兼正	○	
6	委員	NPO奥矢作森林塾　理事長	小林　太朗	○	
7	委員	NPO夕立山森林塾　代表	佐藤　大輔	○	
8	委員	恵那小径木加工協同組合	曽我　良久	○	
9	委員	協同組合東濃地域木材流通センター	小木曽　正富	○	
10	委員	NPO美濃の森造隊　代表	森岡　哲郎		○
11	委員	しあわせの里　えな山里楽耕	安藤　由美子		○
12	委員	森の守倶楽部	小椋　正明		○
13	委員	商工会議所木工部会	所　正幸		○
14	委員	矢作川水系森林ボランティア協議会	高橋　幸生		○
15	委員	山奉仕　代表	藤村　聡樹		○
16	委員	森林インストラクター	山本　喜美江		○
17	委員	恵那市教育委員会学校教育課　主幹	工藤　博也		○
18	アドバイザー	東濃森林管理署　署長	秋山　広		○
19	アドバイザー	東濃森林管理署　森林技術指導官	稲垣　正紀	○	
20	アドバイザー	岐阜県森林組合連合会　東濃林産物共販所　所長	岩木　克也	○	
21	アドバイザー	恵那農林事務所林業課　課長	田口　剛		○
22	アドバイザー	恵那農林事務所林業課　森林整備係長	安田　浩介	○	
23	アドバイザー	恵那農林事務所林業課　森林整備係　係長	大重　隆太郎		○